

本校の地域連携・地域交流

都留市立東桂中学校

第20回「まちづくり文化祭・東桂」への参加

1 目 的

- ・学園祭（桂鮎祭）で披露している『東中ソーラン（ソーラン節）』を、地域住民にも見ていただき、東中文化を感じてもらう。
- ・地域住民との交流を深め、地域に貢献する意識を高める。…“地域が誇る学校”
- ・「社会に開かれた教育課程」を通して、地域と連携・協働しながら目指すべき学校教育の実現を行う。

2 内 容

今年で20回目を迎える「まちづくり文化祭・東桂」では、地域住民がこぞって参加し、自分で学んだもの、また各種団体の日頃の成果を発表し、多くの人たちが、多様な文化に触れることにより、地域の連帯感を培い、誇れる郷土を目指して、豊かな活気ある協働のまちづくりを推進している。

これまで本校においても、合唱や楽器の演奏、『東中ソーラン』の披露等、様々な形態で参加してきた。コロナ禍の影響により、しばらく開催されない年もあったが、今年は、コロナ前の形態に戻りつつある。

そこで、本校では、2年生を中心とした有志（15名）による『東中ソーラン』の披露を行った。当日の発表は、1日目（11日）の午後、ステージ部門（体育館）にて、行った。

- | | |
|---------|---------------------------------------|
| (1) 日 時 | 令和5年11月11日（土）・12日（日） |
| (2) 会 場 | 東桂小学校 体育館・運動場 |
| (3) 主 催 | 東桂地域協働のまちづくり推進会
「まちづくり文化祭・東桂」実行委員会 |

3 成果と課題

- ・地域の方から「素晴らしかった」「感動した」等の声が寄せられた。
- ・週休日の開催であり、事前の練習時間の確保や部活動との兼ね合いが難しかった。
- ・今後も、地域との連携を図りながら、郷土愛の育成に努め、信頼される学校づくりを推進していくことが大切である。

